

Shimizu Port News

第75号—平成24年2月29日—

～愛され、選ばれる港へ～
静岡県清水港管理局

2隻同時！

外国客船が寄港します！！

平成24年3月、日の出埠頭に外国客船が相次いで寄港します。10日（土）には「アマデア」と「コロンバス」が2隻同時に、24日（土）には「アテナ」が、いずれも清水港初寄港です。客船で賑わう春の日の出埠頭には是非お越しください！

～アマデア～

フェニックスライゼン社が運航する、総トン数28,856トンのクルーズ客船。以前は「飛鳥」として活躍していました。「アマデア」としては、清水港初寄港です。

～コロンバス～

総トン数15,067トンのクルーズ客船。21年度に寄港した「プレーメン」や「ハンセアティック」と同じハバックロイド社の船です。

～アテナ～

クラシックインターナショナルクルーズ社が運航する総トン数16,144トンのクルーズ客船。1万トンを超える客船としては、現役で一番年齢が高いといわれています。

アマデアとコロンバスは2隻同時寄港。外国客船の同時寄港は、清水港では初めてだよ。



* 寄港中、岸壁ではさまざまな歓迎イベントが予定されています。詳細は、清水港客船誘致委員会ホームページ (<http://www.shimizu-port.jp>) をご覧ください。

* 寄港の様子は、次号で紹介します♪

船名	入港	出港
アマデア	3月10日(土) 7:00	3月10日(土) 14:00
コロンバス	3月10日(土) 8:00	3月10日(土) 18:00
アテナ	3月24日(土) 7:00	3月24日(土) 12:00



アマデア



コロンバス



アテナ

© Regin Torkilsson

知っていますか？「清水船舶情報センター」

清水港興津埠頭の一角に「清水船舶情報センター」があります(一般の方は入れません!)。ここでは清水港管理局の委託で業務を行っています。どんな仕事をしているのでしょうか?船舶情報センターに勤務する永田さんにお話をうかがいました。

Q1 船舶情報センターではどんな仕事をしていますか?



A1 入出港に関するさまざまな情報を収集、提供し、安全かつ効率的に入出港するためのサポートをしています。船舶と無線などを使って直接やり取りをする他、双眼鏡やレーダー、AIS(船舶自動識別装置)などを使います。安全な入出港のため、24時間365日休むことなく仕事をしています。

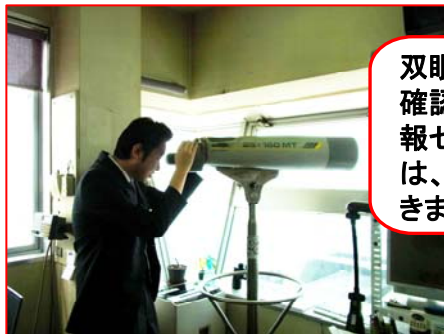


Q2 この仕事の大変なところはありますか?

A2 入港船・出港船が多数重なったときが最も気を遣います。多いときは、5、6隻の船の入出港が重なることもあります。

Q3 この仕事の魅力はどんなところですか?

A3 船が無事に着岸・離岸したときに充実感を感じます。また、さまざまな国籍の船員とやりとりができることも魅力です。



双眼鏡を使って、確認! 船舶情報センターからは、港が一望できます。



無線電話を使って船舶と直接通信します。



「西部地区貿易懇談会」開催

平成24年2月15日(水)、清水港ポートセールス実行委員会は、グランドホテル浜松で、清水港の利用促進を図るための「西部地区貿易懇談会」を開催しました。

鈴木与平実行委員長の主催者挨拶の後、伊藤元重東京大学大学院教授による講演が行われたほか、懇談会では情報交換が行われました。



伊藤先生の講演「混乱を極める内外経済を見る視点」



会場は満員御礼! 400人以上の方にご参加いただきました。



♪みなさまからのご意見やお問い合わせはこちらまで♪
〒424-0922 静岡市清水区日の出町9-25 清水港管理局 企画振興課
TEL054-353-2203 FAX054-354-0380
e-mail : port@mail.wbs.ne.jp

